名　称　中能登農道橋橋梁灯（P五灯）
位　置
所在地　中能登農道橋橋梁灯（C一灯）の西方約一六〇メートル
北　緯　三七―〇八―〇九
東　経　一三六―五四―一二
変更した事項
高　さ　平均水面上から灯火まで三・六メートル
変更年月日　平成二十二年六月二十四日

名　称　中能登農道橋橋梁灯（P六灯）
位　置
所在地　中能登農道橋橋梁灯（C二灯）の西方約一六〇メートル
北　緯　三七―〇八―〇九
東　経　一三六―五四―一二
変更した事項
高　さ　平均水面上から灯火まで三・六メートル
変更年月日　平成二十二年六月二十四日

名　称　中能登農道橋橋梁灯（P七灯）
位　置
所在地　中能登農道橋橋梁灯（C一灯）の西方約三九〇メートル
北　緯　三七―〇八―〇八
東　経　一三六―五四―〇八
変更した事項
高　さ　平均水面上から灯火まで三・六メートル
変更年月日　平成二十二年六月二十四日

名　称　中能登農道橋橋梁灯（P八灯）
位　置
所在地　中能登農道橋橋梁灯（C二灯）の西方約三九〇メートル
北　緯　三七―〇八―〇八
東　経　一三六―五四―〇三
変更した事項
高　さ　平均水面上から灯火まで三・六メートル
変更年月日　平成二十二年六月二十四日

名　称　中能登農道橋橋梁灯（P三灯）
位　置
所在地　中能登農道橋橋梁灯（C一灯）の西方約四三メートル
北　緯　三七―〇八―〇九
東　経　一三六―五四―一七
変更した事項
高　さ　平均水面上から灯火まで三・六メートル
変更年月日　平成二十二年六月二十五日

名　称　中能登農道橋橋梁灯（P四灯）
位　置
所在地　中能登農道橋橋梁灯（C二灯）の西方約四三メートル
北　緯　三七―〇八―〇九
東　経　一三六―五四―一七
変更した事項
高　さ　平均水面上から灯火まで三・六メートル
変更年月日　平成二十二年六月二十五日

○関東地方整備局告示第三百十三号

次のように道路の区域を変更したので、道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第一項の規定に基づき、告示する。

その関係図面は、平成二十二年七月二十二日から二週間一般の縦覧に供する。

平成二十二年七月二十二日

関東地方整備局長　菊川　滋

(一)　道路の種類　一般国道
(二)　路線名　三百五十七号
(三)　道路の区域

区間	変更前	変更後
習志野市茜浜一丁目九番一地内	敷地の幅員	延長
前	五〇・一八～五〇・三七メートル	
後	五〇・一八～五七・七八	〇・〇七五キロメートル

(四)　図面縦覧場所　関東地方整備局及び同局千葉国道事務所

国会事項

衆議院

辞令

（庶務部長）衆議院参事　小島　克美

国際部長参事吉田雅治海外出張不在中同部長事務代理を命ずる

議事部副部長秘書課長事務取扱参事鹿村謙太郎海外出張不在中同課長事務取扱を命ずる（七月十八日）

参議院

当選通知書受領

七月二十日内閣総理大臣から、七月十一日執行の参議院議員通常選挙の結果、次のとおり当選した旨の通知書を受領した。

「比例代表」

○民主党
有田　芳生　谷　亮子　直嶋　正行
小林　正夫　柳澤　光美　石橋　通宏
難波　奨二　津田弥太郎　那谷屋正義
江崎　孝　藤末　健三　加藤　敏幸
前田　武志　田城　郁　白　眞勲
西村　正美

○自由民主党
片山さつき　佐藤ゆかり　小川惠里子
高階恵美子　三原　順子　中村　博彦
脇　雅史　藤井　基之　小坂　憲次
水落　敏栄　宇都　隆史　赤石　清美

○みんなの党
柴田　巧　江口　克彦　上野　宏史
寺田　典城　小野　次郎　小熊　慎司
桜内　文城

○公明党
秋野　公造　長澤　広明　横山　信一
谷合　正明　浜田　昌良　荒木　清寛

○日本共産党
市田　忠義　田村　智子　大門実紀史

○社会民主党
福島　瑞穂　吉田　忠智

○たちあがれ日本
片山虎之助

○新党改革
荒井　広幸

［選挙区］
○北海道　長谷川　岳　鈴木　エリ
○青森県　山崎　力　主濱　了
○岩手県　宮城県　熊谷　大　櫻井　充
○秋田県　石井　浩郎
○山形県　岸　宏一
○福島県　増子　輝彦　岩城　光英
○茨城県　岡田　広　郡司　彰
○栃木県　上野　通子
○群馬県　中曽根弘文
○埼玉県　関口　昌一　西田　実仁　大野　元裕
○千葉県　小西　洋之　猪口　邦子　水野　賢一
○東京都　村田　蓮舫　菊地とし子　中川　雅治
○神奈川県　小川　敏夫　松田　公太
○新潟県　田中　直紀
○富山県　中原　八一
○石川県　野上浩太郎
○福井県　岡田　直樹
○山梨県　山崎　正昭
○長野県　奥石　東
○岐阜県　若林　健太　北澤　俊美
○静岡県　渡邉　猛之　小見山幸治